

八幡山ロープウェイ

八幡山ロープウェイは標高 272m の八幡山に登るロープウェイだ。16 世紀末に八幡山城が築かれたこの山からは、周囲の田園風景を一望することができる。山上には城の石垣の跡があり、城の本丸跡には瑞龍寺がある。

ロープウェイで麓から山頂まで約 4 分。車内からは南側に近江八幡の町並みが一望できる。北東側には西の湖と、琵琶湖と町の間位置する水郷が見える。西の湖の向こうには、安土山や衣笠山があり、16 世紀には重要な城郭があった。山頂駅から少し林道を歩くと、山頂北側の展望台があり、西へと琵琶湖と比良山系を見渡すことができる。